

復興事業の成果を認定

～各会計の決算を認定～

決算議会
9月定例会



歳出決算

192 億円

一般会計は、約167億3185万円、特別会計は、国民健康保険など6会計合わせて約25億6637万円となり、合計約192億9823万円の歳出決算となりました。

これに対して、歳入決算は歳出決算を約19億7820万円上回る、約212億7643万円となりました。

県事業の北釜周辺の工事

平成28年9月定例会を9月13日から16日までの会期で開きました。今回は、平成28年度一般会計および特別会計補正予算案など、提出された22議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、9月定例会は、決算議会でもあり、平成27年度の一般会計および6つの特別会計を認定しましたが、東日本大震災の影響による町税の減収、今後の財政運営や収入未済額の縮減に向けた取り組みなどの改善や要望を求める意見が相次ぎました。

なお、一般質問では、6人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いました。

27年度 決算の概要

一般会計の歳入面で町税は、東京電力(株)広野火力発電所の大規模償却資産税が大幅に減少しましたが、個人及び法人町民税の増収により、前年度と比較して約534万円の増加となっています。また、町税等の収入未済額は、不納欠損処理をしたこともあり、前年度と比較して約1494万円減少しています。

一般会計や特別会計における収入未済額の縮減は、自主財源の確保及び負担の公平性の観点からも最も重要な課題であることから、滞納者の早期対応など有効かつ効果的な徴収対策を行うことが求められています。

監査委員からの意見



監査結果を述べる黒田代表監査委員

平成27年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算書については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、執行は適正なものと認められました。

当町の財政状況は、個人及び法人町民税の増収により比較的ゆとりのある財政運営ですが、計画的な財政運営と効率的な予算配分に努め、歳入面では転入者からの保険料(税)のしっかりとした徴収事務を行い、歳出面では事務事業の見直しを図り、予防医療、予防介護の充実・拡充に努めて疾病を未然に防ぐ事業を

引き続き実施し、結果的に歳出の削減に繋がるような施策を積極的に展開されることを強く望みます。災害の復興・再生と町民福祉の推進、町政発展のため、なお一層安定した財政基盤の確保及び構築に努められることを求めます。